

# 落成慶讃大法会

平成22年5月13日(木)  
~17日(月)



高田  
本山  
だより

発行所

真宗高田派宗務院内  
三重県津市一身田町2819  
電話 059-232-4171  
F A X 059-232-1414  
H P www.senjutsu.or.jp



発行部数 35,000部

よみがえ

## 甦った文化財 専修寺御影堂

### 御影堂落慶記念品打敷 (記念文字入り)



(大) 巾約60cm

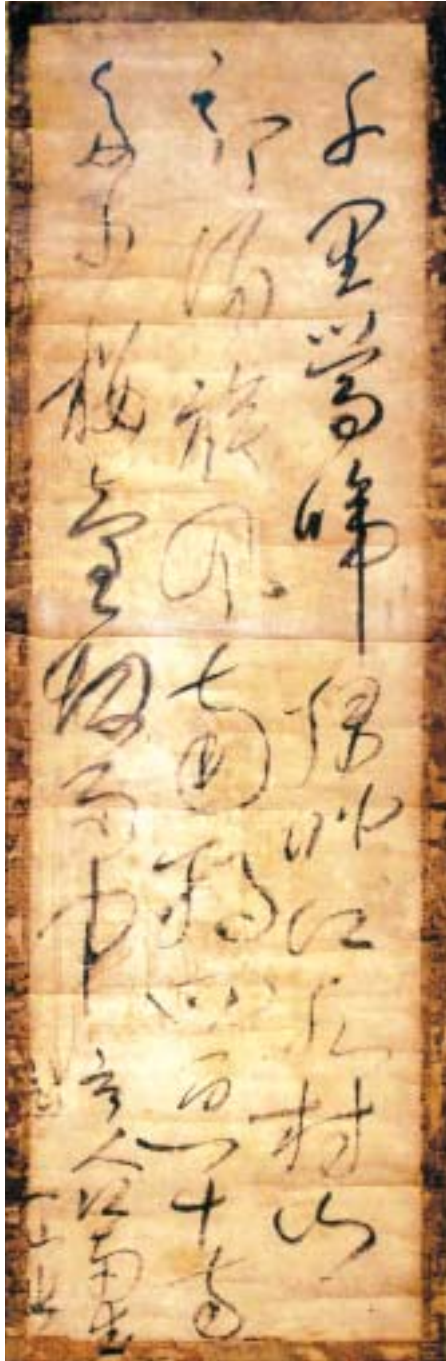
(小) 巾約43cm

専修寺では、平成二十年六月に御影堂落慶大法会に向けて事務局を開局しました。高田派御同行一丸の欣念が開花した新しい御影堂に聞法の道場として老若男女の参詣を頂き、この希有の落慶法会を念仏高田再興の機縁とし「よかったですね。」「りっぱになりましたね。」と言う声はどこからともなく聞こえ御同行を中心とした慶びを共にできる法会とすべく内容を計画しています。講演、イベント等については決まり次第発表いたします。賑々しくご参詣をお待ちしております。期間中、落慶の御懇志をいただきました方へ御扱い(記念品)として打敷をお渡しいたします。御同行御内仏(御仏壇)用でサイズは大・小二種類を用意しました。大・小合わせて五千枚の限定品です。

# 一山一寧墨跡

千里鶯啼緑映紅 水村山  
郭酒旗風 南朝四百八十寺  
多少楼臺烟雨中 唐人江南春  
一山書

この書は専修寺宝庫に所蔵される逸品のひとつです。禅僧の書跡ということもあり、宝物館にてごく希に公開される以外は寺外にはほとんど知られていません。写真では少しわかりにくいのですが、料紙には薄い茶色で中国の仏殿らしき建物に人々がお参りしている風景が横位置に画かれています。これは版木に蠟をつけて刷ったもので、蠟牋という名のたいへん高価な中国製の料紙であることは判っていましたが、ところが、昨年十一月に行われた文化庁の宝物調査の際に、この三月に重要文化財となる予定の『慈円



書状」とともに、この墨跡も入念に調べていただくことになって、書のほうも一山一寧の直筆として間違いないとの所見を得ました。ただ、重文指定には墨跡の専門家による実見が必要ということ、今は、『慈円書状』とともに文化庁に運ばれて調査を待っています。

一山一寧(一二四七〜一三一七)は、一二九九年の鎌倉末期に來朝した中国・元代の禅僧です。書かれているのは、いうまでもなく晩唐の詩人である杜牧の著名な七言絶句『江南春』で、江南の農村風景に、遠く六朝時代の都であったころの繁栄を物語る寺院跡の情景を重ねて詠んだものです。蠟牋にかかれた絵も、往時に栄えたころの江南の仏教寺院の賑わいなのでしょう。一山はその江南の地に生まれ、浙江省寧波の四明山で修行していましたが、五十歳を過ぎたころ、当時の中国を支配していた元の皇帝によって、日本に朝貢をうながす使節として半ば強引に派遣されてきたのです。しかし、使節としての役割は少しも達成されずに、

かえって、鎌倉幕府の執権であった北条貞時の帰依を受け庇護されます。そして、鎌倉の建長寺などに住まいしたのち、請われて京の南禅寺の住持に迎えられ、後宇多法皇やその重臣の六条有房など、京都の政治中枢にいた人々からの帰依も受けついに故国に帰ることをあきらめて日本に帰化します。

一山の墨跡は何点かが知られていますが、そのいずれの書にも、異国に在っても衰えない一山の気概を感ずることが出来ます。ほとんどが重要文化財に指定されていますので、専修寺秘蔵のこの書も、おそらく来年の春ころには重文に指定されているのではないかと考えられます。

重要文化財講座は、毎月の第四木曜日の午後四時から五時まで、宗務院の二階にて開設しています。どなたでも自由にご参加下さい。

(宝物館主幹 新光晴)

声明公演  
真宗高田派～伝承500年の響き～  
親鸞聖人を讃歎する集い  
日時 平成21年4月2日(木)  
会場 国立劇場大劇場



世の中安穩なれ 仏法ひろまれ

絵所頭 安川如風

御本山絵所

社寺建造物彩色、障壁画、仏画、絵伝、頂相画、天井画などの制作と修復・復元承ります。その他石工、木地、漆、箔押、鋳金具など、ご相談下さい。

ものづくりの観点から、あらゆる職種の本物の職人による法物制作のお手伝いをします。

絵所  
〒514-0114 三重県津市一身田町2819  
TEL:059-232-4171 FAX:059-232-1414  
(本山宗務院内 絵所)

# 親鸞聖人のご生涯

## 念仏停止

親鸞聖人が法然上人の門下に入られてから六年目のことでした。承元元年（一二〇七）二月、専修念仏を禁止する太政官符が出され、法然上人門下の四人の死罪と六人の流罪が執行されました。親鸞聖人は越後に流罪となり、恩師法然上人との永遠の別れとなりました。



禁裏御所の門前で、安楽房と住蓮房(右)が検非違使の役人(中央)に逮捕されるところです。

では、平安時代すでに念仏が盛んに行われていたはずなのに、なぜ法然上人門下の念仏だけが弾圧されたのでしょうか。

それは、当時の普通一般の念仏は定散自力の諸行を捨てない念仏でしたが、法然上人の念仏は自力の諸行を捨てて弥陀の名号を称する専修念仏だったからです。つまり、各宗にはそれぞれの行が有りますが、専修念仏はそれらの諸行を否定することになったのです。

ここで、念仏停止に至るまでの事件の経過を見ますと元久元年（一二〇四）、叡山僧侶が天台座主に専修念仏の停止を申し入れ、それに対し法然上人は叡山に対し起請文を提出するとか「七箇条の制誡」を作り門弟ら百九十名ほどに署名をさせました。

しかし、翌、元久二年（一二〇五）仏教界を代表して「興福寺の奏状」が朝廷に提出され、問題は公沙汰となりました。朝廷は宣旨を下し対応しましたが、興福寺側はそれを不満として抗議をしていました。

そんな中の、建永元年（一二〇六）十二月、後鳥羽上皇が熊野詣をされていた留守中に院の女官数名が、法然上人の弟子の安楽・住蓮らが催した念仏集會に参加し、そのまま剃髪しました。このことを耳にされた上皇は激怒され、翌

承元元年（一二〇七）興福寺の訴えを受け入れ、風紀を乱したとして安楽・住蓮ら四名を死罪。法然上人や親鸞聖人など六名を流罪にしました。そして専修念仏を禁止するという太政官符が出されました。

これが世に言う「承元の法難」で日本史上類を見ない弾圧事件でした。ときに法然上人は七十五歳。親鸞聖人は三十五歳でした。

（教学院第三学舎）

御本山御用達

# 鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入（中央局区内）  
電話 (075)371-0854・8181～2番  
FAX (075)344-2701番  
振替口座・01070-3-972番 郵便番号600-8344

高田本山御用達

# 井筒法衣店

社長 幾田 潤

京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）  
（〒600-8503）

TELフリーダイヤル 0120-075-720  
FAXフリーダイヤル 0120-075-490

三末照国著  
**教行信証講義**  
真仏土

真仏土文類を本文・延書大意、語釈・現代語釈・師説にわけ講義 定価7350円税込

藤澤桂珠著

**教行信証講讚**

第五巻―信文類(末)―

信文類(末)の信念釈論・真仏弟子釈・弁機彰法・釈義料簡について 定価7350円税込

普賢晃壽著

**阿弥陀仏の救い**

―人生の帰趨―

私の心にいただいた親鸞聖人のおみのりについての思いとご法義を讃仰した文集 定価2100円税込

小林浄子著

**あんたもわたしもみな兄弟**

本願成就文・美しい姿・自殺はしないぞ・親と子の絆・お寺とは・心と体はひとつです 定価1700円税込

無名会同人編

**仏と人 45**

教団と私と 足利孝之  
／仏法不思議ということ  
源 義春／維新の真宗勤皇  
僧 超然 南部松雄／時計  
の詩 森 正隆／正信傷の  
のころ(二) 梯 實圓／恩  
の世界 高田慈昭  
定価4100円税込

600-8342 京都市下京区花屋町西洞院西入  
永田文昌堂  
電話 0755-0771  
FAX 0755-0771  
0755-0771  
0755-0771  
0755-0771  
0755-0771  
0755-0771  
0755-0771  
0755-0771

# ご恩に目覚める

福澤 秀倫

「頑張らなきゃ」と思うほど壁が高く  
なってしまう前に進めない、「頑張れ  
ない」ということはないですか？ そん  
な時は、ナゾナゾなどして気分転換をし  
ましょう。

★ 将来のためにすること、今のた  
めに出来ないことは何？

★ 今のためにすることで、将来のた  
めでないことは何？

★ できる時に出来なくて、出来ない  
時にできることは何？

いろいろな答えが返ってきそうですが、  
『幸せ』をキーワードに考えてみて下さい。

一番目の答えは努力です。『幸せにな  
る』ために必要です。しかしその結果に  
ついて『幸せである』と思えるかどうか  
心配です。頑張つて良い時代を築いた筈  
なのに、皆難しい顔をして歩いていま  
す。あまり幸せになっておりません。温  
和な顔のためには『幸せである』が  
ないダメですね。そしてそれは、私の  
努力とは少し離れた所にあるように思  
います。

「良い方に考えよう、幸せだと思  
おう」は空しく失敗します。努力で変  
えるのは将来であり、今を変えるこ  
とはできません。

二番目の答えは念仏です。『幸  
せである』に関係しています。真宗の念  
仏は、報謝の念仏で、将来を良くす  
るために申しません。逆に、今が『幸  
せである』と感じられて初めて、報謝  
の念仏となります。赤ちゃんがお母  
さんに抱っこされているのを見ると、  
幸せそうだなと思います。大きな存  
在に全てをお任せできている状態が  
『幸せ』です。懐かしい何かと出  
会い直した時も『幸せ』でしょうか？  
なかなか難しいですね。

三番目の答えはご恩への目覚めです。

『幸せであった』という気持ちに  
関係しています。思い通りにならな  
いご縁によつて、やつと、私達は私  
を支えていて下さる大きな力や願  
い、忘れていたご恩に気が付きます。  
足の悪いお婆さんのいつもの笑  
顔。足を悪くしたとき、その笑  
顔の尊さに触れなおします。自分  
を点検していた念仏が報謝の念  
仏に換わります。『苦勞を縁にご  
恩に目覚める』という構造が見え  
てきます。

結果の重大性や道のりの長さに  
執られて消極的になってしました  
ね。結果を出すための努力を、尊  
さに出遇い直すための努力に換  
えて、念仏申しながら、さあ  
もう少し頑張りましょう。

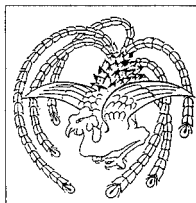
(豊橋市 願成寺住職)

## 親鸞聖人降誕会

5月21日(木)

御参廟(御廟にて) 9時より

降誕会(御影堂にて) 11時30分より



仏壇・仏具

# ぬし与

ホーオーが目印！

六代目 (株)ぬし与仏壇店

桑名本店・四日市店・鈴鹿店・蟹江店・大安店・阿下喜店

緑と共に75年

三重県知事免許認可  
(一級造園技能士)造園・庭園管理

# 山本造園

代表 山本 進一郎

津市栗真小川町 869-77

TEL 232-7453

FAX 232-7453

限りない私の欲

有り難いことに本山で勤務していると、いろいろな方から物を授かります。昨年の秋のある日、頂き物の美味しそうな桃を前にして、一人の本

山職員が、「桃は美味しいけど、種が大きすぎて食べるところが少ない。スイカやブドウみたいに、誰か種なし桃を作ってくれたらありがたいのになあ。」と言っています。すぐ横にいた私は思わず、「桃は芽を出しやすい場所まで種を運んでもらうために、おいしい果実を実らせて人や動物を集めているんだよ。あなたを満足させるために種をなくしてしま

ったら、実をつける意味がないじゃないか。」と言いました。

しかし、実際に果物屋さんのお店先を見ると、ブドウやスイカ、ミカンなど、種のない果物がたくさん出回っています。最近では種なしカキや種なしビワまで開発されて高値をつけているそうです。

植物と動物は、持ちつ持たれつの関係として、さまざまな恩恵を受けています。蜜を与える代わりに受粉の手伝いをする花とミツバチなどは、その典型かもしれませぬ。

食料が少なくなる冬を前に木々か

ら与えられる果物は、人間だけでなく、様々な動物にとってありがたいごちそうです。「山の幸」という言葉は、そんな自然からの恵みに、私たちのご先祖が感謝をこめた言葉だったことでしょうか。

しかし、いつの間にか私たちは自然への感謝の気持ちを忘れてしまい、さらなる自己満足ののために、種なしの果物を作ってしまったのです。植物にとってみれば、美味しい実だけを食べて種はいらぬという私たちの行動は、詐欺のように思えることでしょうか。

最近、巷では身勝手な犯罪が多発して、色々な方がその原因を考えておられます。しかしこれらの根源は、もともと古くからあったのではないかと考えてしまいます。

日野詢城先生（真宗大谷派湯布院町見成寺）は、何でも作れると錯覚した時「恵み」という言葉が消えていくとおっしゃられました。

はたしてこの私の中に「恵み」という言葉は残っているのか、考えなければなりません。

誓覚寺住職 栗廼隆興



《お知らせ》

☆ 高田コーラスの1日

「コーラス海」では、五月十九日、仏教讃歌を歌う集いを開催します。

今年のアトラクションは「しんらん音頭」。釋氏清子師に踊りを教わります。京舞の井上八千代氏の振り付けです。「仏教讃歌ってどんなの?」「一〇〇人で合唱してみたい」「京舞のしんらん音頭も面白そう」と思われる方はぜひご参加下さい。個人でも、グループでも参加出来ます。

申し込みは四月十五日まで。郵便局に備え付けの「振込み取り扱い表」の通信欄に住所、氏名、電話、所属寺院又は所属コーラス団体、パート別人数を明記の上お振込み下さい。参加費の振込みを以って申し込みを受理いたします。参加費用二千円です。お問い合わせは、

水沼 〇五九一三三二一〇八五、高谷 〇五九五一二二一〇八九三 まで。



達御用 本山御 山御推 田本仏 重県教 三重会

石碑 石記 燈籠



高級御影石専門店

御影石材(株)

(石に御用の方は) イシニキョウ 〇120-142540

本店 津市広明町(影見寺門前) 〇59-224-1700(代)



乙法事の乙会食 乙予約承り中

～少人数から団体のお客様まで貴客にご利用ください～



お膳の高級/薄味+和食のコース 本山会席

各膳献立よりお選びいただけます。 〇精選料理 1人前 4,000円(税別) 〇本山会席 1人前 3,500円(税別)



人気商品 高田本山 精選料理

お膳、お会食のご注文は 〇お電話で〇メールにてお申し込みください 〇高田青少年会館 TEL.059-232-6079

ご和讃のお話

北島 恒陽

助正ならべて修するをば

すなはち雑修となづけたり

一心をえざるひとなれば

佛恩報するころなし

(善導大師第五首)

す。正行のなか、重要なのは阿弥陀仏の名号を称える称名です。称名は浄土往生のための行であり、往生を決定する行業として、正定業といわれます。これに対し、礼拝、読誦、観察、讃嘆供養の行を助業といいます。

心を得ていない人であり、仏恩を報謝する心もないとされています。仏恩を報謝する心が無いとは仏恩を報ずる心が生じないということであり、仏恩を報ずることができないという事です。雑修を修する人は仏恩を報ずることができないのです。

出してくるのです。仏の恩を知らずに、恩を報ずることはできません。仏恩を報ずるということは、日常生活の恩を返すということとは違って、報じているとの思いもなく報じられるものであり、喜びながら報じられていくものです。まさに信心を得ることで報恩を喜ぶ身となるのです。

正定業である称名こそが肝要なのに、礼拝、読誦などの助業をも肝要なものと思ひ、正定業と助業とを区別せず、正定業の称名とそれらを助業とを並べて修することを雑修という。雑修を修する人は他力の一心を得ていないのであるから、仏恩を報謝する心もない。

助業は往生のための行ではなく、仏を拝し、経を読んでも、それによつては浄土に往生することはできません。その助業を浄土往生の行と思ひ、往生のため、称名に加え、礼拝、読誦などの行を並べて修するといふ修し方をいましめたのがこの和讃です。正定業と助業とは区別されるべきものであり、正定業こそが肝要なのだということが示されています。

絶対には救われることのないこの身が、いままさに救われていく、それが仏の救いです。信心を得ることによってこの身が救われていくのです。信心を得るとは、暗黒の闇のなか、光輝く光明に出会うことであり、喜びとあはれはこれ以上の喜びはありません。その大きな喜びのなか、仏の恩が仰がれ、恩に報ずるとの思いが湧き

仏恩の広大なることを仰ぎ続けたのが親鸞聖人です。報じても報じきれないというのが聖人の思いです。人々が報恩を喜ぶ身となることとが聖人の願ひであり、この和讃でも、仏恩を報じられる身になるようにとの思いから雑修がいましめられているのです。聖人の心に思いをいたすなら、まさにこのわが身が仏恩を報ずる身にならなくてはなりません。

(四日市市正泉寺住職)

阿弥陀仏を拝する礼拝、經典を読む読誦、阿弥陀仏と浄土の様子を思ふ観察、阿弥陀仏の名を称する称名、阿弥陀仏を讃える讃嘆供養、この五つの行は正しい行であり、正行といわれます。しかし、同じ正行といつても、正行のなかにも重要な行とそうでない行がありま

雑修を修する人は他力の信

恩に報ずるとの思いが湧き

身にならなくてはなりません。



京仏壇京仏具・ご本堂内装 お仏具ご修復・お納骨壇



高田本山御用達

京仏具

小堀

本店/京都市下京区烏丸通正面上る ☎(075)341-4121(代) 東京店・練馬店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房

無料進呈! お役に立てて下さい

◆成功談と失敗談に学ぶ 新築・改築のノウハウ「100のヒント」 お申し込みはこちらから フリーダイヤル(本店) 0120-27-9595

お墓

寺標

墓地移転

霊園開発造成

高田本山御用達 石匠位認定店 全国優良石材店、認定店

創業100余年

株式会社

ISHIEN STONES ストーンズ 石仙

(旧(有)山本石材店)

四日市市近鉄阿倉川駅前

☎0593-31-4114

マイコー・ヨイシ

### これからの本山諸法会

#### ◆ 涅槃会

三月十三日から十五日  
お釈迦さまは今から二千数百年前の  
インド暦二月の満月の夜にお亡くなり  
になりました。これを現代の新暦の計  
算で三月十五日に相当すると解釈し、  
本山ではこの日に涅槃会を勤めます。

例年三月十五日に行われていたが、  
今年は大涅槃図(縦五・五m、横四m)  
の修復が完了したのを受けて、三月十  
三日にお勤めをした後、十五日まで三  
日間特別公開をいたします。

期間中は涅槃図の絵解きと法話、表  
具師による修復の説明なども行います。

#### ◆ 讚仏会

三月十七日～二十三日  
春のお彼岸の法会です。  
毎日、朝七時と昼十一時半の二回、勤  
行とお説教が勤まり、中日の二十日に  
は法嗣殿の御親教があります。

#### ◆ 十万人講法会

四月六日～十日  
本山の護持団体である十万人講が主催  
する法会です。  
十万人講に加入された方が参詣され、  
本山内の賜春館で法主殿のご対顔を仰  
いだ後、御影堂にて参詣します。  
十一時半に勤行が始まり、勤行後は  
お説教が勤まります。

#### ◆ 戦没者追弔法会

四月十一日  
如来堂西側の位牌堂には、明治以後  
の大戦で亡くなられたお同行の位牌が  
安置されています。

法主殿をはじめ、僧侶、遺族、一般  
参詣者で賑々しく厳修され、戦争で亡  
くなられた方々の当時をおしのびする  
法会です。

十時半から、位牌堂でお勤めが始まり、  
その後御影堂に移動して勤行とお説教  
が勤まります。

#### ◆ 千部法会

四月十二日～十七日  
正式には講千部法会と言います。秋  
法会と同じく、進納所で講千部に加入  
いただいた方をご招待して勤まる法会  
です。

賜春館で法主殿のご対顔を仰いだ後、  
御影堂にて参詣します。

#### ◆ 前住上人十七年忌法会

五月六日～八日  
高田派第二十三世堯禩上人(一九〇  
五～一九九二)十七年忌の法会です。  
堯禩上人は、昭和九年に専精学舎を創  
設されるなど、高田派の社会福祉にご  
尽力されました。  
八日の晨朝後、九時から御廟でのお  
参りもごさいます。

#### ◆ 親鸞聖人降誕会

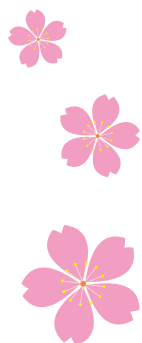
五月二十一日  
宗祖親鸞聖人は、承安三年(一一七  
三年)の五月二十一日に日野の里に誕  
生されました。

聖人のご誕生を祝い、法会が勤まり  
ます。朝九時から御影堂から行列が出  
発して、御廟(親鸞聖人のお墓)で、  
お勤めが行われます。十一時半からは  
御影堂でお勤めとお説教があります。

天気によければ、雲幽園にある茶室「安  
楽庵」で、宗旦古流の呈茶がおこなわ  
れます。(雨天の場合は場所を変更します)  
境内では一身田商工会のみなさんが、  
いろいろな催しを行って下さいます。

#### ◆ 釈迦三尊佛法会

四月八日午前十時より  
高田本山の山門の上には釈迦三尊佛  
がまつられています。急な階段を下  
に気をつけながら上がると、中央にお  
釈迦さま、左右に象に乗られた普賢菩  
薩と獅子に乗られた文殊菩薩のお姿が  
あります。普段は施錠されていて入る  
ことが出来ませんが、四月八日は、十  
時半より釈迦三尊佛のお参りをされま  
す。その前後、十時くらいから十一時  
くらいまで、参詣のみなさんにも開放  
されます。一年一度のこのご縁にぜひ  
ご参拝ください。  
階段が急なため、動きやすい服装と、  
お釈迦さまにささげる一輪のお花を忘  
れなく。



これからの諸行事

◆ 写生大会

四月四日  
幼児から中学生までを対象に、本山境内の風景を写生します。  
参加費用は無料、当日受付で午前十時から午後三時まで行われます。どうぞご参加ください。  
また優秀作は、はなまつりで表彰されます。

◆ はなまつり

四月十九日  
お釈迦さまのご誕生をお祝いする、子どもたちの集まりです。  
生まれたばかりのお釈迦さま像に甘茶をおかけ(灌仏)したり、仏青インクアートクラブのお兄さんお姉さんとゲームをしたりします。  
参加は無料で、当日受付を行います。

◆ 興学布教研究会

四月二十九日  
高田派を代表して、真宗連合学会で研究発表をする人や、日頃布教活動をしている人が、高田派の僧侶や檀信徒を前に発表をする勉強会です。  
参加は無料で、当日受付を行います。



◆ 第四十五回高田派婦人連合大会

六月七日  
高田派婦人連合会は高田派各寺院の婦人会の集まりです。  
かつては第二十二世堯猷上人のお裏方実明院様御正當お逮夜の日(八月二十一日)にそのお徳を偲びつつお念仏のご縁を広めようと始まりましたが、現在は六月の第一日曜日に開催しています。  
午前の式典では宗祖親鸞聖人と同じ、かぞえて九十歳になられた女性の方(大正九年生まれ)を祖師寿として表彰します。  
午後からの第二部は、浄土真宗本願寺派万行寺住職本多静芳先生の講演を聴講し、第三部は高田幼稚園の小さいお客様をお迎えします。



清掃奉仕ありがとうございました  
平成二十一年  
二月 慈智院

高田本山写生大会

4月4日(土)10:00~15:00  
どうぞご参加下さい。  
当日受付(参加費無料)



はなまつり  
4月19日午前10時より  
本山宗務院2階にて



参加費無料

寺院名

編集後記

二月中旬に風邪をひいたので、近所の病院に行きました。  
七〇歳くらいの先生から「どうされましたか?」と聞かれたので、私が「しゃべりやすいようにマスクをはずしながら、風邪気味だと症状を伝えたところ、強い口調で、「マスクは、はずさないでください」と言われました。しかも先生は、あわてて後ろを向いて自分もマスクをつけるじゃないですか。  
インフルエンザの蔓延や院内感染など、いろいろ大変なことは知っています。私が風邪ではなくインフルエンザの可能性もあるから、感染しないように気をつけるのも仕方ないでしょう。  
しかし、すでに受付で症状を告げていて検温も検尿も済ませている上に、カルテも手元に届いているのだから、私が病室に入る前から先生もマスクをしておけばいいのに、何とも間の悪い行動に思わず笑ってしまいました。  
(栗)